

入札監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札監視委員会の平成20年度第4回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時 平成21年2月18日(水) 14:00～15:30

会 場 北九州市庁舎15階 特別会議室B

平成20年度 第4回 北九州市入札監視委員会 議事概要

1 会議名

平成20年度 第4回北九州市入札監視委員会

2 開催日時・会場

開催日時 平成21年2月18日(水) 14:00～15:30

会場 北九州市庁舎15階 特別会議室B

3 出席委員

阿野 寛之、植木 利雄、柿内 よし子、高橋 衛

4 欠席委員

菊池 裕子

5 議事

(1) 開会

(2) 平成20年度第3四半期の契約状況の報告

ア 報告事項について

次の事項について報告した。

- ・ 工事契約件数及び契約金額について
- ・ 建設工事等有資格業者に係る指名停止について

イ 報告に関する質疑等

なし

(3) 平成20年度第3四半期の契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、平成20年度第3四半期に契約をした工事の中から、阿野委員が10件(契約室契約分8件、建設局西部整備事務所分2件)を抽出した。

イ 審議における質疑等

(問) 前回の委員会で造園工事の落札率が高いように思われるため、競争入札参加資格のあり方について検討していただくということであったが、その後の状況を教えていただきたい。

(答) 造園のAランク工事について、現在は指名競争入札を行っているが、今年の4月から一般競争入札を導入する予定である。

(問) 管工事のB、Cランクでは、材料費の単価表のようなものがあり、それを積み上げていくと、どの業者が積算しても金額の落としようがなく、ほぼ同様の積算金額となり、結果として落札率が高くなるといったことがあ

るのか。

(答) 建築関係の工事は、直接工事費の比率が高く余裕が少ないため、土木工事等と比較すると落札率は高くなっている。また、設計単価や積算等は国の基準等に基づき適切に行っている。

(4) 入札制度についての報告

ア 報告事項について

次の事項について報告した

- ・ダンピング対策の拡充(低入札価格調査制度の改正)
- ・建設工事有資格業者の登録における主観点評価項目の見直し

イ 報告についての質疑等

(問) 主観点評価項目の見直しについて、加点される条件が厳しく小さな企業に該当せず、不利になるようなことはないのか。

(答) 大企業と中小企業に加点条件の違いを設け、不利にならないよう配慮している。

- 1 次回の審議案件の抽出は、植木委員長が担当することに決定した。
- 2 次回の委員会は、平成21年5月20日(予定)に開催することとした。